

# 森林が無くなる？

「森林減少」一度は耳にしたことがあると思います。今、世界中の森林が様々な理由で急速に減少していることが問題になっていきました。1990～2000年までの10年間で世界の森林面積は約9400万ha(日本の面積の3倍弱)も減少しています。そこで「森林減少」が、地球環境にどのように影響するのかを調べてみました。

## 森林の働き

豊かな森林は植物や動物をはぐくみ、私たち人間にさまざまなめぐみをもたらしてくれます。土砂の流出を軽減、落ち葉、下草、枯れ枝、根などが土をカバーして、雨で土を削り取ることを抑えます。水循環 水資源貯留により川に流れ出る水を減らします。その結果、洪水防止などにつながります。また、水質の浄化や水量の調節をする機能もあります。温暖化の緩和 温室効果の原因の大きな割合を占める「二酸化炭素」を光合成

りさ

炭素保全機能

削減 炭素ルギー 収支による気候保全機能。

このように地球のほとんどの循環にかかわる「森林」が減少してしまえばどうなるか？なんとなく想像できますよね。

## 森林減少の原因

「森林減少」の理由として次のようなものが挙げられます。過度の焼畑耕作(伝統的な焼畑農民に加え、人口増加により新たに流入した住民による影響が大きい) 薪炭材の過剰採取 森林以外の用途(放牧地、農地など)への転用 不適切な商業伐採 その背景として、開発途上国における貧困や急激な人口増加などの問題があります。つまり、森林(熱帯林)の減少と野生生物種の減少とは、その原因と構造が非常に密接に関係していることがわかります。

## 森林減少の影響

「森林の働き」で挙げられていることが出来なくなるわけですが、温暖化の進行、土砂の流出(以前新聞で紹介したサンゴは土砂に弱いので死んでしまいます)、水源の涵養機能や熱循環、海と陸との相互作用機能の低下、森林に生息する野生生物種の減少などが挙げられます。

途上国における急激な森林の減少は、大規模な災害を引き起こし多大な損害をその国に与えます。

1998年、中央アメリカの湾岸地帯をハリケーン「ミッチ」が襲った。この地域では森林が減少していたために大規模な土石流が発生するなどして、ホンジュラスでは人口の半分が家を失い、農業は壊滅状態に陥った。

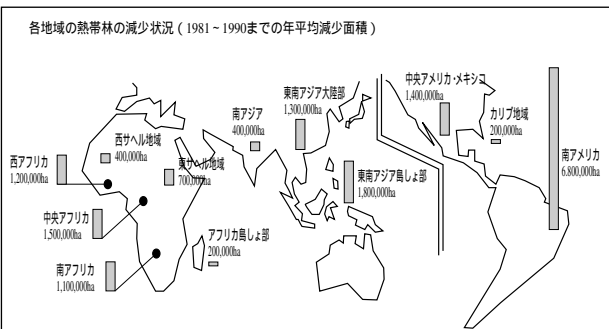
1998年の中国長江流域での洪水も森林減少によるものとされる。長江流域の森林の大半がここ数年の間に伐採され、さらに流域の保水能力が開発によって低下していたために2億2千万人に影響を与えるほどの洪水を引き起こした。

## 私達にできること

私たちの身の周りには木材を原料とする製品が非常に多くあります。木造家屋、家具などの長期にわたって使用されるものから、新聞紙やティッシュペーパーなどの日常的に消費されるものまで多岐にわたります。このように私たちの生活は世界の森林と密接な関わりを有することを認識し、木材資源の

有効利用を進めていく必要があります。ちなみに日本で使う木材の約75%が外国からの輸入に頼っています。

各地域の熱帯林の減少状況(1981-1990までの年平均減少面積)



PRIVATE

